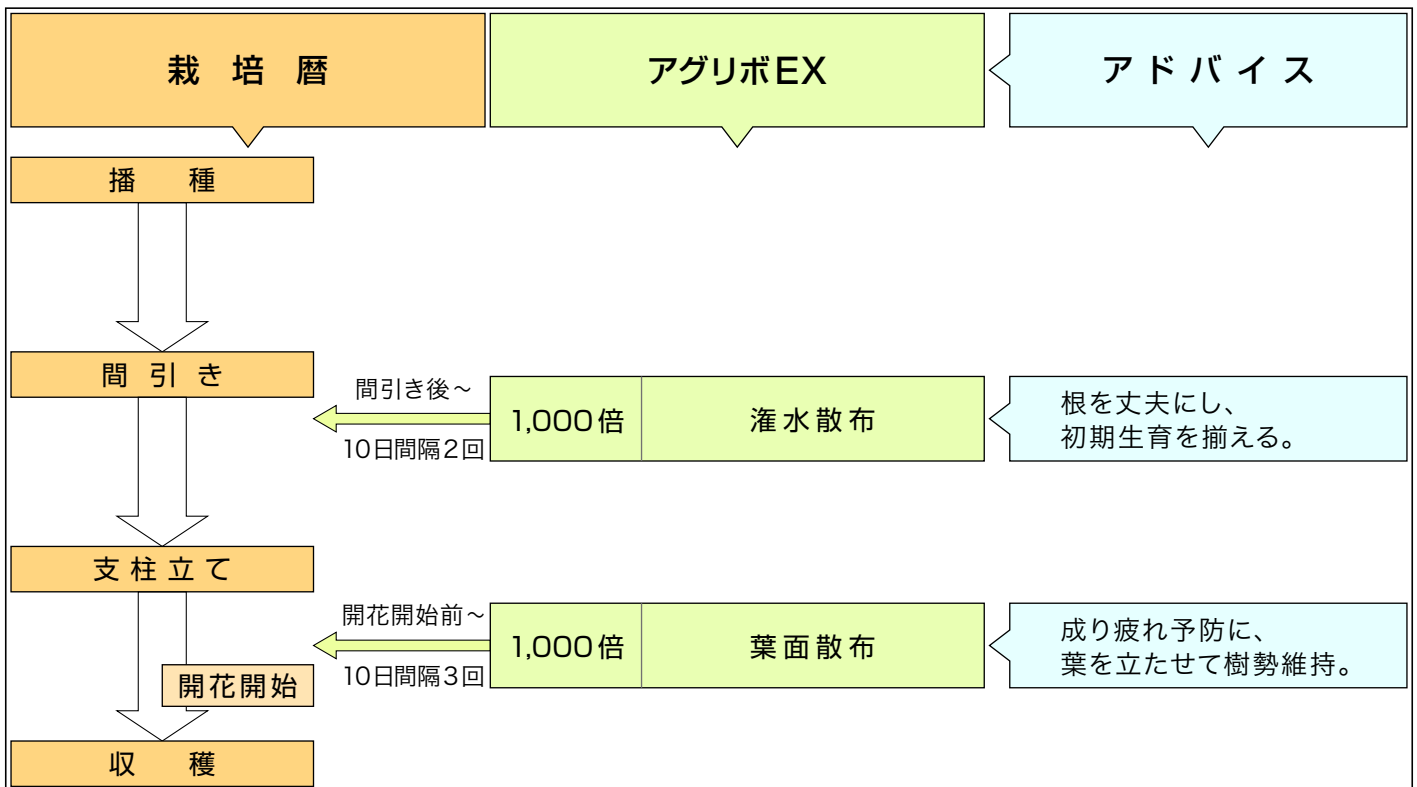


前半は「根」、後半は「葉」。

さやえんどうは地上部と地下部のバランスが取りづらく、初期段階で根や株元の強化が必要です。また豆類特有の光を要求する性格がありますので、樹が育って来たら、「アグリボEX」で葉を立たせましょう。



霜害予防に、ヤワラ！

地域や作付時期により霜害にあう場合があります。越冬は出来るだけ小さな株で。トレハロース入りカルシウム剤「ヤワラ」も散布しておきましょう。

収品率向上のために！

収穫初期に乾燥させると、莢の肥大が悪くなり、曲がり莢や硬莢の原因となります。もともと根の丈夫な作物ではないので、「アグリボEX」で根を丈夫にし、乾燥に注意して収品率を向上させよう。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”（界面活性剤・トレハロース）入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328